

製品名: RAB8A (15Q17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16803**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB8A
別名	MEL; Mel transforming oncogene; Oncogene c mel; RAB8; RAB8A;
遺伝子 ID	4218.0
SwissProt ID	P61006
免疫原	ヒト RAB8A の組み換えタンパク質

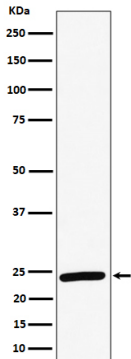
背景

小胞輸送および神経伝達物質の放出に参与している可能性がある。RAB11A、RAB3IP、エクソシスト複合体、PARD3、PRKCI、ANXA2、CDC42、DNMBPとともに、PODXLの頂端膜輸送開始部位（AMIS）へのトランスサイトーシス、頂端面形成、および内腔形成を促進する。MYO5BおよびRAB11Aとともに、上皮細胞の分極に参与する。低分子GTPaseであるRabは、輸送小胞の形成から膜との融合に至るまで、細胞内膜輸送の重要な調節因子である。Rabは、不活性なGDP結合型と活性なGTP結合型の間を循環し、小胞の形成、移動、係留、融合に直接関与する様々な下流エフェクターセットを膜にリクルートすることができる。このRabは、分極した小胞輸送および神経伝達物質の放出に参与している。RAB11A、RAB3IP、エクソシスト複合体、PARD3、PRKCI、ANXA2、CDC42、DNMBPとともに、PODXLの頂端膜開始部位（AMIS）へのトランスサイトーシス、頂端面形成、および内腔形成を促進します（PubMed:20890297）。MYO5BおよびRAB11Aとともに、上皮細胞の分極に参与します（PubMed:21282656）。繊毛形成に参与している可能性があります（PubMed:21844891、PubMed:30398148）。MICALL2とともに、接着結合の構築も制御する可能性があります（類似性による）。インスリン誘導性のグルコーストランスポーターGLUT4の細胞膜への輸送に参与し、ひいてはグルコース恒常性維持に役割を果たしている可能性があります（類似性による）。オートファジーに参与しています（PubMed:27103069）。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa細胞溶解物中のRAB8A発現のウェスタンブロット分析。